

～もうすぐ1年生～

もうすぐ1年生のぞう組さん。子どもも大人も新しい世界への挑戦はドキドキしますね。楽しみと不安がまじりあって、一歩踏み出すことがままならないこともあるでしょう。それでも、どんぐり保育園の先生たちはいつでも応援しています。学校に行っても、いのちを大切に、家族のお手伝いを少しはして、毎日元気にすごしてください。ぞう組の子どもたちは、12月からにじ・ほし・太陽の1人ずつが3人組になって、ちびっこ先生をしています。「小さいクラスのお昼寝後のお手伝い」「玄関の掃除」をします。とても楽しんでやっています。誰かのために、頼られる、一人の働き手としての経験を広げ、誰かにあてにされて、認められながら、確かな自分を形成途中です。大きくなりました。もうすぐ1年生おめでとう。

～進級する子どもたちのお父さんお母さんへ～

1歳児期の“イヤ、ダメ、ジブンデ”に始まり、2歳児期は“ミテミテ、ヒトリデデデキルヨ”、3歳児期は“自分のこともできるけど、お手伝いもしたいやりたがり”、こうして少しずつ幼児期は“自分のことが自分でできる確かな力”を培いその力を誰かのためにも使えるようになっていきます。**自分のカバンを自分で持って登園し、毎日の着替えの補充や、手拭きタオルの取り換え、ノートを出したりしまったり、家に帰ったら洗濯物を脱衣所に持って行く、こんな繰り返される日常が、次の学校生活の自分の身の回りのことができる力や、学習前にノートや鉛筆や必要なものを用意する、学習の土台形成にもつながっています。**大人は、子どもが自分でできることは子どもにまかせ、一人前になろうとする子どもの姿を見守り応援していきましょう。

～二十歳のつどい～

毎年3月の第1土曜日に「二十歳のつどい」を開催しています。乳幼児期を一緒に育ちあってきた、我が子とお友だちの成長を確認しあう時間は、嬉し、懐かし、楽しい時間です。いろいろありながら、ジグザグしたり、回り道したり、少しずつ成長を重ねていく子どもたちです。今年も卒園児童、父母合わせて19名の参加が予定されています。

～ひろがれ 笑顔 みらいにむかって！～ みんなの子どもはみんな育て、大人も子どもも共に育ちあう保育園
1964年3名の名大職員の行動から保育所づくり運動が始まりました。その後、名大教職員、大学院生、生協職員が一緒になって「名古屋大学保育所を作る会」が発足。大学当局への働きかけと運動により1968年に東山共同保育所誕生。翌年この地に大学がプレハブの園舎を建設。誕生から50年、認可から40年たちました。この節目に2月11日（日：10時～15時）吹上ホールにて、**保育所誕生から50周年（1968年）・法人設立から40周年（1976年認可）の記念事業が開催され、一部396名、二部310名、三部278名の参加がありました。**実行委員をはじめ、保護者会の皆さん、会を盛り立てていただきありがとうございました。乳児クラスのご家庭も多数参加されました。一部：歴史スライド、子どもたちのステージの記念ソング合唱と踊り、とても良かったです。二部：記念講演「大震災と原発事故、直後から今日まで」帰還困難地域大熊町の現状を知りました。福島さくら保育園の子どもたちのことも知りました。そして大人たちがどう行動しているかも。三部：祝賀会では、卒園父母・子どもからの話や各園の出し物が披露されました。どんぐり保育園は、保護者会役員さんを中心に保護者、職員、小学生によるハンドベル合奏がされとても素敵でした。歴史を知り、この先もみんなの手つなぎで保育園を守り、発展させ、存続させていきましょう。

もうすぐ、3月11日。東北大震災から7年たちました。記念講演の話からも、「知る」ということは大切だと思いました。テレビで特集の特集が紹介されていたので紹介します。NHKテレビ：「特集明日へつなげよう」（11日前7時50分プロローグ、前10時05分福島編、後1時05分宮城編・岩手編）「津波ピアノ～坂本龍一と東北の7年」（10日後11時25分）「#311246大切なものはなんですか？」（11日後11時20分）あなたにとって大切なものを撮影してください、という呼びかけで寄せられたスマホ映像から物語をつづっていきます。「21人の輪～相場雅紀がみつめた子どもたち」（27日後10時）2011年6月～12年5月の番組で出会った子どもたちは18歳になりました。彼らの今を見つめます。